

4. 事業の内容

事業の内容	
概要	<p>成田新高速鉄道線は、京成高砂～成田空港間約51.4kmの路線で、このうち京成高砂～印旛日本医大間約32.3kmは、既営業路線の北総線である。</p> <p>本事業の内容は、印旛日本医大～成田空港間の新線建設であり、北総線の印旛日本医大駅から印旛沼を経由して、成田空港高速鉄道線（以下、「NKT」という。）接続点まで新規に鉄道施設を建設し、NKT接続点から成田空港駅までは、NKT既存施設に単線軌道を敷設するものである。新線区間には、駅を1箇所設置する。また、新規施設建設区間は、一般国道464号北千葉道路（印旛～成田）の事業が並行して建設される。なお、本事業の構造形式の選定にあたっては、水田地域の社会環境、土地の改変及び廃棄物等の環境への影響並びに経済性観点をも考慮し、高架形式を標準構造として採用した。</p>

5. 事業計画の概要

事業計画の概要	
事業の種類	普通鉄道の建設事業
事業が実施されるべき区域	<p>事業実施区域（以下、「計画路線」という。）</p> <p>起点：千葉県印旛郡印旛村若萩（印旛日本医大駅）</p> <p>終点：千葉県成田市三里塚（成田空港駅）</p>
事業の規模	新線建設区間延長：約19.1km（うち、既存施設使用区間延長約8.4km（NKT））（印旛村：約4.5km、成田市：約14.6km）
事業に係る単線、複線等の別及び動力	<p>複線：印旛日本医大駅から成田ニュータウン北駅（仮称）</p> <p>単線：成田ニュータウン北駅（仮称）から成田空港駅</p> <p>動力：電気（直流 1,500ボルト）</p>
事業に係る鉄道施設の設計の基礎となる列車の最高速度	最高速度：160km/h
事業の工事計画の概要	<p>地上構造が主体</p> <p>地上部：盛土工、切取工、橋梁工及び高架橋工</p> <p>地下部：開削トンネル工</p> <p>なお、施工方法は4～5頁に示す。</p>
	<p>工事実施期間</p> <p>環境影響評価の手続きに合わせ、工事施行認可申請を行い、認可後、工事に着手する。工事実施期間は、工事を着手してから概ね5年とし平成22年度に開業を予定している。</p>
事業に係る鉄道において運行される列車の本数	スカイライナー・特急共に上下各3本/h
事業に係る盛土、切土、トンネル若しくは地下、橋若しくは高架又はその他の構造の別	<p>地上部：盛土、切取、橋梁及び高架橋</p> <p>地下部：開削トンネル</p> <p>なお、構造については6～7頁に示す。</p>
事業に係る車庫及び車両検査修繕施設の区域の面積	車庫及び車両検査修繕施設は建設しない。
その他	<p>駅施設：成田ニュータウン北駅（仮称）</p> <p>構造：高架 ホーム：相対式2面4線通過型（ホーム幅：2.0m～5.6m）</p> <p>変電所施設：3箇所の設置を予定</p> <p>軌道構造：弾性まくらぎ直結軌道</p>